





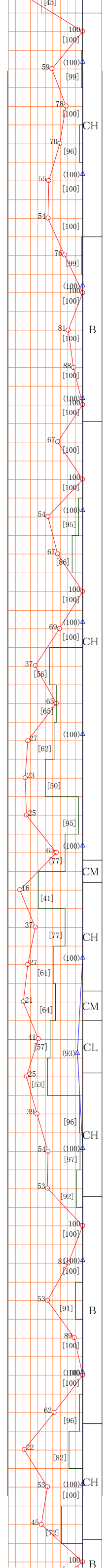






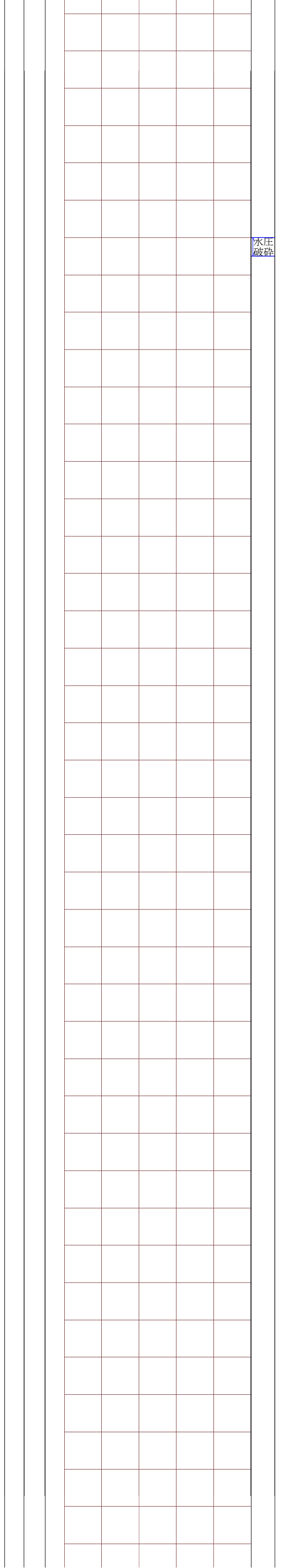
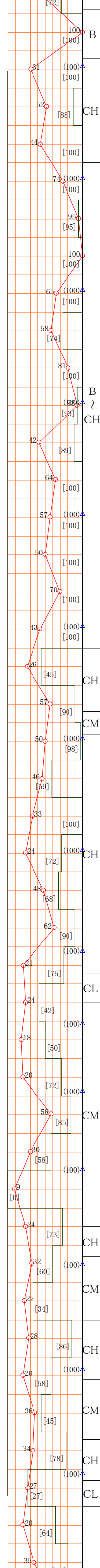


191	288.72	191.00	トータル岩						無色鉱物の白濁が認められる。
192									
193									
194					I II				191.0m~202.0m付近、新鮮で、亀裂は少なく変質は認められない。
195									
196			青灰	B					
197	282.72	197.00							197.2m付近、厚さ10cm程度のペグマタイトが分布する。
198									
199									
200					I	a	α	1	
201									
202	277.77	201.95	ペグマタイト	白~灰	B	II	a	α	1
203	277.42	202.30							亀裂はあるが、新鮮で、変質は認められない。
204	276.02	203.70		青灰			a		1
205	275.52	204.20		淡青灰~灰			b		2
206				青灰		I II	a		1
207									
208	271.32	208.40	トータル岩	青灰~暗灰	A B			α	
209	270.92	208.80							微細な密着した亀裂が多く、無色鉱物の白濁が認められる。
210				青灰		II	b		2
211									亀裂が多く、亀裂の周辺では無色鉱物の白濁が認められる。210.1m、厚さ5cm程度のペグマタイトが分布する。
212									205.0m~208.0m付近と比較して亀裂は若干多くなる。亀裂が集中している箇所は無色鉱物の白濁が認められ、コアは部分的に岩片状となっている。
213									
214	266.02	213.70	アプライト	灰	B	IV	b	α	2
215	265.42	214.30							コアは岩片状である。
216			トータル岩	青灰~暗灰	B	II III	b	α	2
217	262.52	217.20							亀裂の間隔は10~20cmで、亀裂面は暗色化している。周辺のコアは部分的だが無色鉱物の白濁が認められる。
218	261.72	218.00			II		c		3
219	261.02	218.70						γ	
220	260.62	219.10	ペグマタイト	白~灰	C	IV	b	γ	2
221	260.32	219.40		暗灰~青灰	B	IV	b		2
222				青灰	A B	II	a		1
223	257.02	222.70							222.1m付近、厚さ1cm程度のペグマタイトが分布する。222.5m付近、厚さ7cm程度のアプライトが分布する。
224									
225	254.52	225.20		灰~淡青灰			b		2
226	254.22	225.50			A	I	a	α	1
227			トータル岩	青灰					
228	250.92	228.80							227.5m付近、厚さ5cm程度のアプライトが分布する。
229	249.92	229.80		灰~淡青灰					厚さ10cm程度のアプライト・ペグマタイトが分布する。この周辺約60cmは灰白色に変色している。亀裂も目立つ。
230									
231	247.82	231.90		青灰	A B	II	b		2
232									231.5m付近、亀裂が集中し、亀裂周辺では無色鉱物の白濁が認められる。

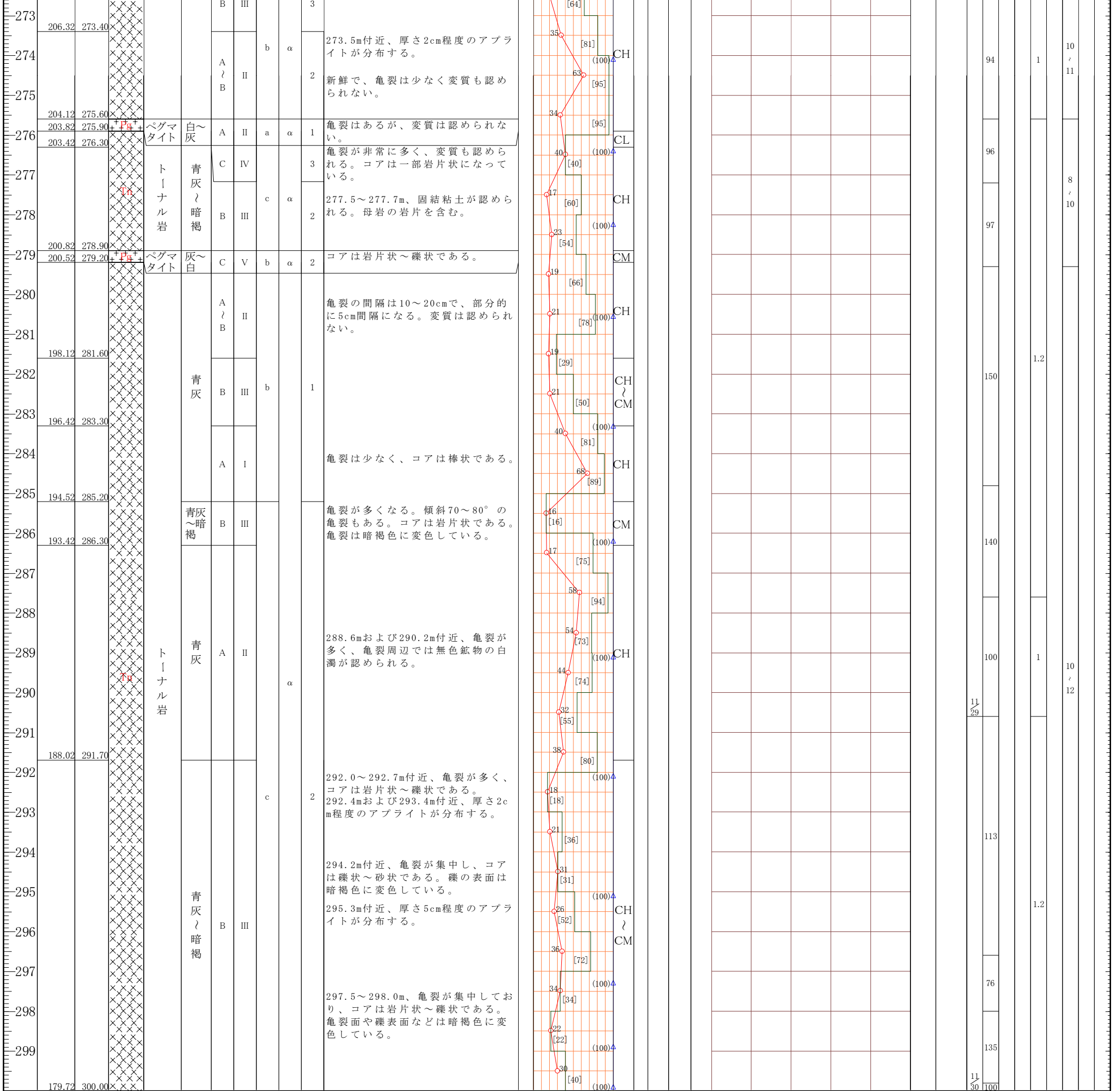


106									
100									
90									
82									
90									
95									
82									
120									
90									
63									
100									
82									
100									
120									
120									

232	247.82	231.90	青灰	A	I	1	1	231.5m付近、亀裂が集中し、亀裂周辺では無色鉱物の白濁が認められる。									
233	246.42	233.30						亀裂の間隔は40cm～50cmである。									
234																	
235	244.82	234.90	アプライト	A	II	a	α	1	下部境界に亀裂があり、亀裂周辺は無色鉱物が若干白く変色している。								
236	243.72	236.00															
237			トータル岩	青灰	A	I	α	1	亀裂は少ないが、亀裂付近では無色鉱物の白濁が認められる。								
238									a								
239	240.42	239.30															
240																	
241																	
242																	
243																	
244																	
245									b								
246																	
247																	
248																	
249																	
250	230.02	249.70															
251	229.02	250.70	アプライト・ペグマタイト	白く	B	IV	b	α	2	約90°の密着した亀裂がある。亀裂は茶褐色に変色している。							
252	227.92	251.80															
253	227.42	252.30	トータル岩	青灰	A	II	a	α	1	上位のペグマタイトとは、ペグマタイトのブロックが徐々に減ることで境界を成す。							
254			トータル岩	青灰	A	II	a	α	1	亀裂が多く、コアは短柱状～岩片状である。							
255										亀裂の間隔は10～20cmである。							
256										253.9m付近、厚さ2cm程度のペグマタイトが分布する。							
257										254.6m付近、厚さ10cm程度のアプライトが分布する。							
258	222.02	257.70								青灰～暗褐色	C	IV	c		2	亀裂が多く、亀裂には粘土を挟む。コアは一部岩片状～礫状となる。	
259	221.22	258.50								アプライト	白く	C	III	c	α	2	亀裂が多く。上位のトータル岩も含め、258.3～259.0m付近で無色鉱物の白濁が認められる。
260	220.87	258.85															コアは短柱状～岩片状である。全体的に亀裂が多く、全体的に無色鉱物の白濁が認められる。
261																	
262												C	II	c		2	261.5m付近、厚さ5cm程度の固結粘土が認められる。岩片を含む。
263																	亀裂が多く、亀裂面は暗褐色である。約80°の亀裂も見られる。
264	215.22	264.50						α									
265	214.42	265.30			A	B				亀裂が若干少なくなる。							
266			トータル岩	青灰	C	III	b	α	2	亀裂の間隔は10～20cmで、コアは岩片状～礫状である。部分的に有色鉱物が多くなる。							
267	212.72	267.00															
268																	
269	211.12	268.60															
270																	
271	209.52	270.20															
272	208.42	271.30															
273	207.72	272.00															
274	206.32	273.40															
275										273.5m付近、厚さ2cm程度のアプライト							



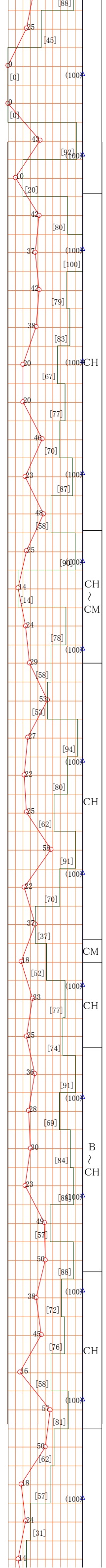
11	26	100	1.2	8	9
95				7	8
129			1.3	8	9
113				8	10
11	27	103	1.2		
75			1		
79					
115			1.2	8	10
129					
104					
113					
11	28				



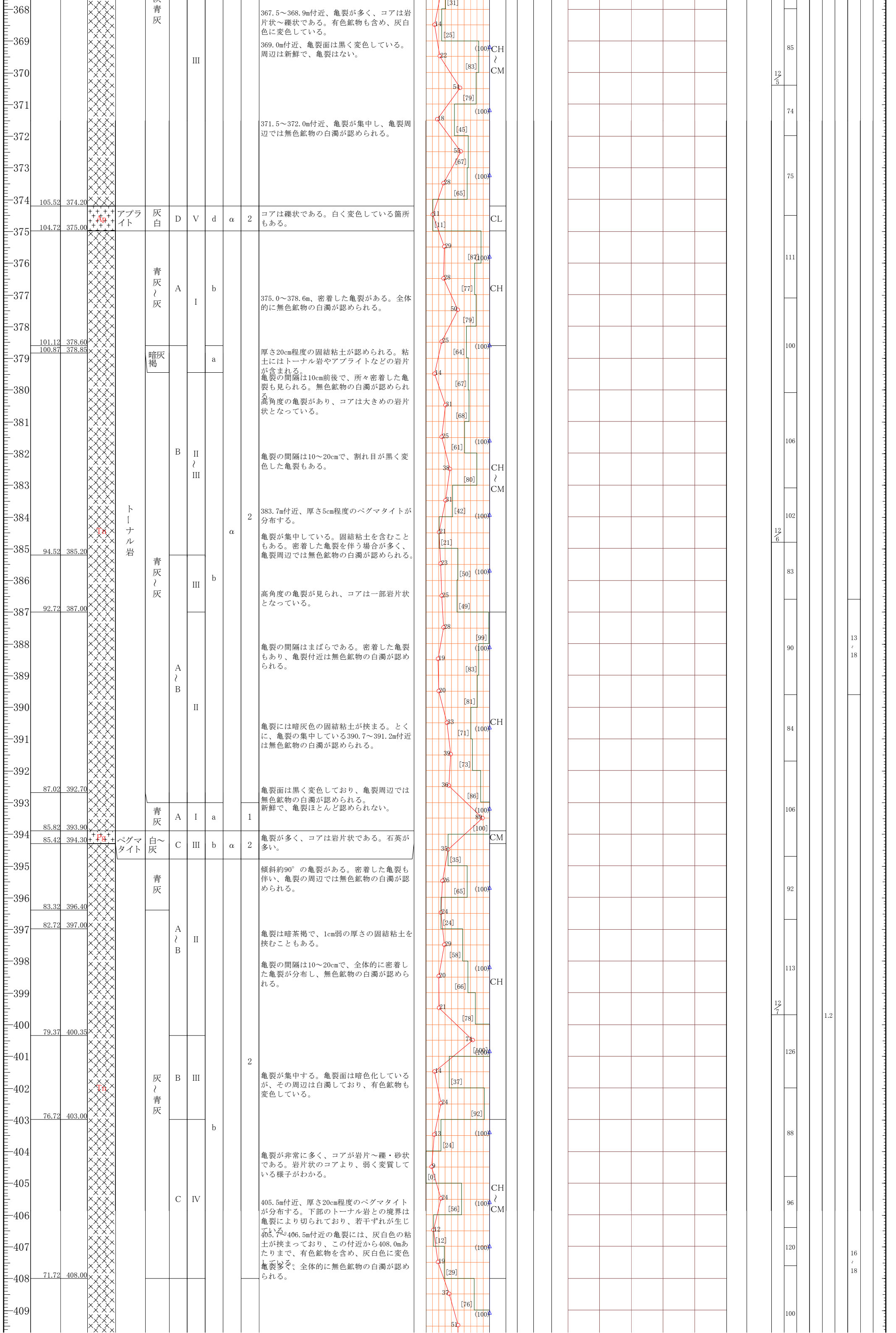




327			ナール岩	灰 暗褐色	C	III	c	α	3	コアは一部岩片～礫・砂状である。割れ目は茶褐色である。
328										
329										329.3m付近、厚さ10cm程度のペグマタイトが分布する。傾斜80～90°の亀裂が卓越する。
330	149.07	330.65								
331			アブライト	灰	C	IV	b	α	2	コアは岩片状である。トーナル岩との境界部は変質し、白色となる。
332	147.82	331.90								
333				青灰	A					亀裂の間隔は30～40cmである。
334										334.6m付近、厚さ10cm程度のペグマタイトが分布する。トーナル岩との境界は不明瞭である。
335										
336	143.72	336.00	トーナル岩			II	b	α	2	336.0～336.7m付近、亀裂が多く、亀裂には固結粘土が挟まる。
337										
338				灰 青灰	B					338.6m付近、厚さ10cm程度のアブライトが分布する。338.7m付近、厚さ5cmほどの固結粘土が認められる。粘土中には、トーナル岩の細礫が含まれる。338.9m付近、厚さ15cm程度のペグマタイトが分布する。固結粘土が網状に分布し、岩石の構造が不明瞭である。
339										
340										
341	138.77	340.95	アブライト	灰	B	III	b	α	1	亀裂の間隔は10数cm程度である。トーナル岩との境界にも亀裂が分布する。
342	137.82	341.90	トーナル岩	青灰	B	II	b	α	2	密着した微細な亀裂がある。
343	136.77	342.95	ペグマタイト	白～灰	C	III	b	α	1	亀裂が多く、コアは一部礫状となっているが、主に短柱状である。
344						B	III			亀裂の間隔は10～20cmで、亀裂面は暗灰色に変色している。
345	135.22	344.50								
346			トーナル岩	青灰	A B	II III	b	α	2	全体的に無色鉱物の白濁が認められる。344.0～346.0m付近、高角度の亀裂がある。亀裂面は暗灰色に変色している。
347										
348										
349										
350	130.17	349.55	アブライト	白～灰	B	II	b	α	2	開口および密着した亀裂が多く認められ、部分的に白く変色している
351	127.82	351.90								
352	127.22	352.50	トーナル岩	暗灰 青灰	C	III	b	α	2	アブライトとの境界付近は、暗茶褐色の固結していない粘土が認められる。コアは短柱状である。亀裂がある箇所はやや脆くなっている。
353										
354	124.92	354.80			A	II				亀裂は少なく、亀裂間隔は30cm前後である。亀裂付近が暗色化している。
355	124.17	355.55	ペグマタイト・アブライト	白～黒	A	II	b	α	2	355.1m付近、ペグマタイト中に、帯状に有色鉱物が見られる。
356										密着した亀裂が見られ、全体的に無色鉱物の白濁が認められる。
357	122.62	357.10				III				
358				青灰						亀裂には固結粘土が挟まる。
359										
360										359.9m、厚さ10cm程度のアブライトが分布する。
361	118.92	360.80				II				
362										亀裂が集中し、亀裂周辺は無色鉱物の白濁が認められる。
363										
364										亀裂に固結粘土が挟まる。粘土中には礫が認められる。また、亀裂付近は組織が不明瞭になっている箇所がある。
365	114.72	365.00	トーナル岩		A		b	α		
366										365.8m付近、コアが岩片状～礫状である。割れ目は暗褐色である。
367				青灰 淡青灰						
368										367.5～368.9m付近、亀裂が多く、コアは岩片状～礫状である。有色鉱物も含め、灰白色に変色している。



73										
70										12 / 2
47										
86										
78										
79										
95										12 / 3
75										1 / 1.2
82										
50										
53										12 / 4
73										
80										
75										
99										



367.5~368.9m付近、亀裂が多く、コアは岩片状~礫状である。有色鉱物も含め、灰白色に変色している。  
369.0m付近、亀裂面は黒く変色している。周辺は新鮮で、亀裂はない。

371.5~372.0m付近、亀裂が集中し、亀裂周辺では無色鉱物の白濁が認められる。

コアは礫状である。白く変色している箇所もある。

375.0~378.6m、密着した亀裂がある。全体的に無色鉱物の白濁が認められる。

厚さ20cm程度の固結粘土が認められる。粘土にはトーナル岩やアプライトなどの岩片が含まれる。亀裂の間隔は10cm前後で、所々密着した亀裂も見られる。無色鉱物の白濁が認められる。高角度の亀裂があり、コアは大きめの岩片状となっている。

亀裂の間隔は10~20cmで、割れ目が黒く変色した亀裂もある。

383.7m付近、厚さ5cm程度のペグマタイトが分布する。

亀裂が集中している。固結粘土を含むこともある。密着した亀裂を伴う場合が多く、亀裂周辺では無色鉱物の白濁が認められる。

高角度の亀裂が見られ、コアは一部岩片状となっている。

亀裂の間隔はまばらである。密着した亀裂もあり、亀裂付近は無色鉱物の白濁が認められる。

亀裂には暗灰色の固結粘土が挟まる。とくに、亀裂の集中している390.7~391.2m付近は無色鉱物の白濁が認められる。

亀裂面は黒く変色しており、亀裂周辺では無色鉱物の白濁が認められる。新鮮で、亀裂ほとんど認められない。

亀裂が多く、コアは岩片状である。石英が多い。

傾斜約90°の亀裂がある。密着した亀裂も伴い、亀裂の周辺では無色鉱物の白濁が認められる。

亀裂は暗茶褐色で、1cm弱の厚さの固結粘土を挟むこともある。

亀裂の間隔は10~20cmで、全体的に密着した亀裂が分布し、無色鉱物の白濁が認められる。

亀裂が集中する。亀裂面は暗色化しているが、その周辺は白濁しており、有色鉱物も変色している。

亀裂が非常に多く、コアが岩片~礫・砂状である。岩片状のコアより、弱く変質している様子がわかる。

405.5m付近、厚さ20cm程度のペグマタイトが分布する。下部のトーナル岩との境界は亀裂により切られており、若干ずれが生じている。

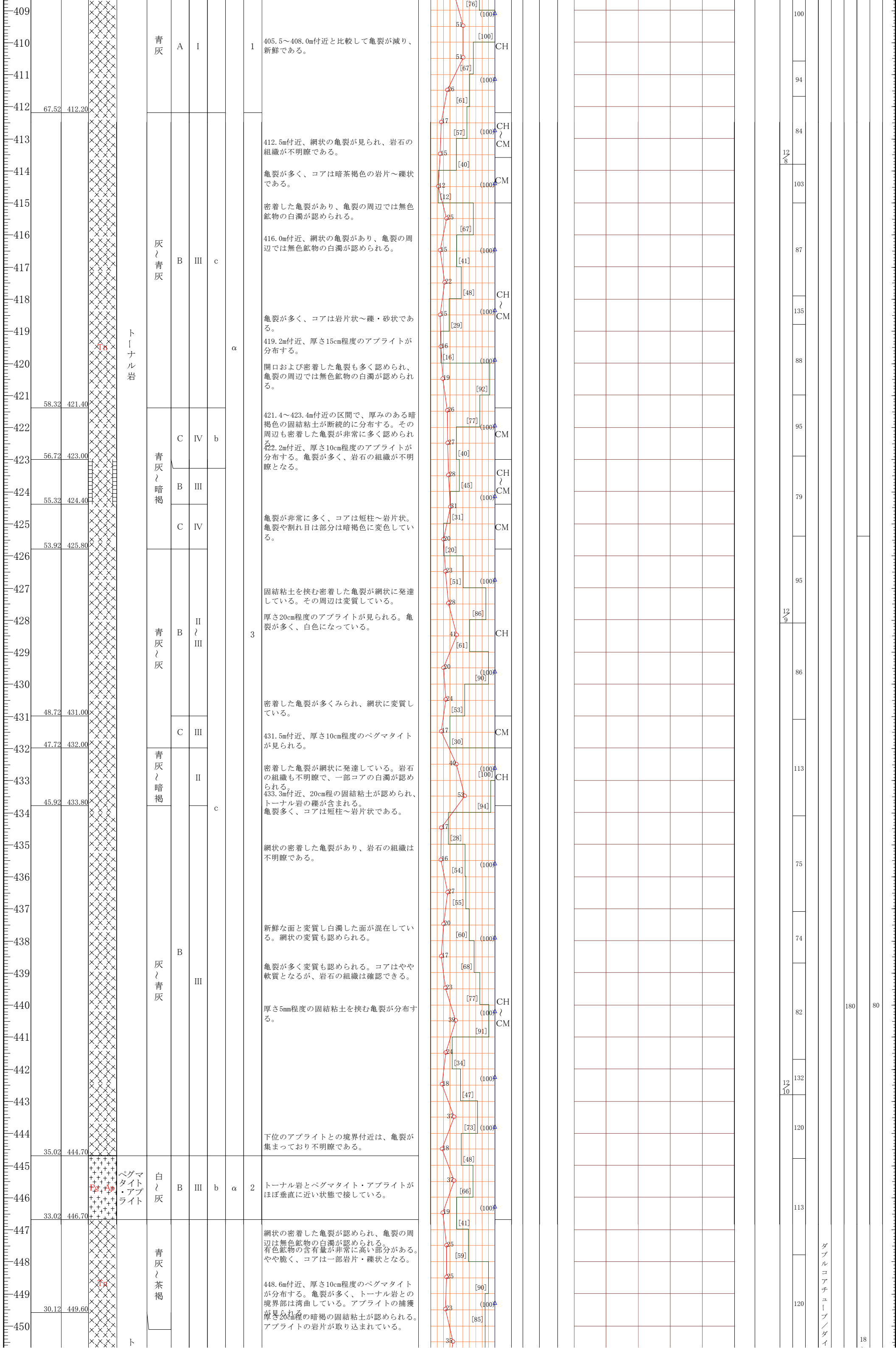
405.7~406.5m付近の亀裂には、灰白色の粘土が挟まっており、この付近から408.0mあたりまで、有色鉱物を含め、灰白色に変色している。亀裂が多く、全体的に無色鉱物の白濁が認められる。

85  
74  
75  
111  
100  
106  
102  
83  
90  
84  
106  
92  
113  
126  
88  
96  
120  
100

13 / 18

1.2

16 / 18



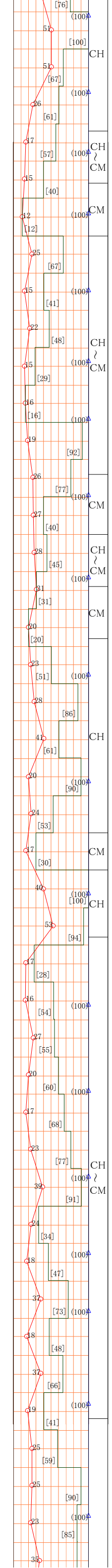
409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
450

67.52 412.20  
58.32 421.40  
56.72 423.00  
55.32 424.40  
53.92 425.80  
48.72 431.00  
47.72 432.00  
45.92 433.80  
35.02 444.70  
33.02 446.70  
30.12 449.60

ト  
ー  
ナ  
ル  
岩

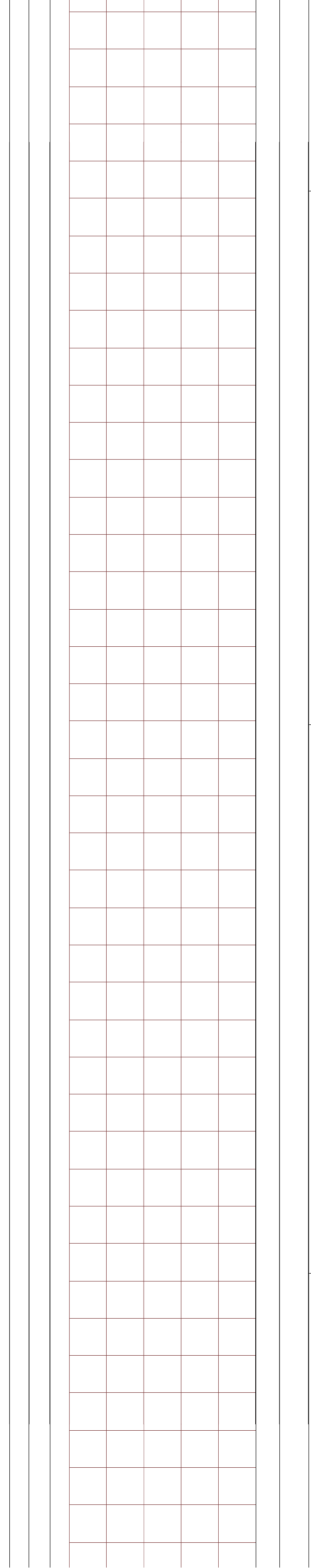
青灰 A I 1  
灰と青灰 B III c  
青灰と暗褐 B III  
C IV  
C IV  
青灰と灰 B IIとIII  
C III  
青灰と暗褐 II  
c  
灰と青灰 B III  
白く灰 B III b  
青灰と茶褐

405.5~408.0m付近と比較して亀裂が減り、新鮮である。  
412.5m付近、網状の亀裂が見られ、岩石の組織が不明瞭である。  
亀裂が多く、コアは暗茶褐色の岩片～礫状である。  
密着した亀裂があり、亀裂の周辺では無色鉄物の白濁が認められる。  
416.0m付近、網状の亀裂があり、亀裂の周辺では無色鉄物の白濁が認められる。  
亀裂が多く、コアは岩片状～礫・砂状である。  
419.2m付近、厚さ15cm程度のアブライトが分布する。  
開口および密着した亀裂も多く認められ、亀裂の周辺では無色鉄物の白濁が認められる。  
421.4~423.4m付近の区間で、厚みのある暗褐色の固結粘土が断続的に分布する。その周辺も密着した亀裂が非常に多く認められる。  
422.2m付近、厚さ10cm程度のアブライトが分布する。亀裂が多く、岩石の組織が不明瞭となる。  
亀裂が非常に多く、コアは短柱～岩片状。亀裂や割れ目は部分は暗褐色に変色している。  
固結粘土を挟む密着した亀裂が網状に発達している。その周辺は変質している。  
厚さ20cm程度のアブライトが見られる。亀裂が多く、白色になっている。  
密着した亀裂が多くみられ、網状に変質している。  
431.5m付近、厚さ10cm程度のペグマタイトが見られる。  
密着した亀裂が網状に発達している。岩石の組織も不明瞭で、一部コアの白濁が認められる。  
433.3m付近、20cm程の固結粘土が認められ、トータル岩の礫が含まれる。亀裂多く、コアは短柱～岩片状である。  
網状の密着した亀裂があり、岩石の組織は不明瞭である。  
新鮮な面と変質し白濁した面が混在している。網状の変質も認められる。  
亀裂が多く変質も認められる。コアはやや軟質となるが、岩石の組織は確認できる。  
厚さ5mm程度の固結粘土を挟む亀裂が分布する。  
下位のアブライトとの境界付近は、亀裂が集まっており不明瞭である。  
トータル岩とペグマタイト・アブライトがほぼ垂直に近い状態で接している。  
網状の密着した亀裂が認められ、亀裂の周辺は無色鉄物の白濁が認められる。有色鉄物の含有量が非常に高い部分がある。やや脆く、コアは一部岩片・礫状となる。  
448.6m付近、厚さ10cm程度のペグマタイトが分布する。亀裂が多く、トータル岩との境界部は湾曲している。アブライトの捕獲厚さ20cm程の暗褐の固結粘土が認められる。アブライトの岩片が取り込まれている。



409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
450

[76] (100)  
[100] CH  
[67] (100)  
[61] (100)  
[57] (100)  
[40] (100)  
[12] (100)  
[67] (100)  
[41] (100)  
[48] (100)  
[29] (100)  
[16] (100)  
[92] (100)  
[77] (100)  
[40] (100)  
[45] (100)  
[31] (100)  
[20] (100)  
[51] (100)  
[86] (100)  
[61] (100)  
[90] (100)  
[53] (100)  
[30] (100)  
[100] (100)  
[94] (100)  
[28] (100)  
[54] (100)  
[55] (100)  
[60] (100)  
[68] (100)  
[77] (100)  
[100] (100)  
[91] (100)  
[34] (100)  
[47] (100)  
[73] (100)  
[48] (100)  
[66] (100)  
[41] (100)  
[59] (100)  
[90] (100)  
[85] (100)  
[35] (100)



409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
450

100  
94  
84  
103  
87  
135  
88  
95  
79  
95  
86  
113  
75  
74  
82  
132  
120  
113  
120

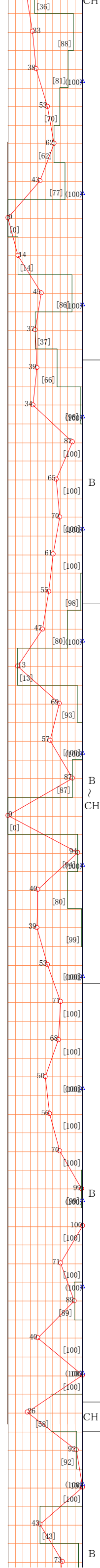
12/8  
12/9  
12/10







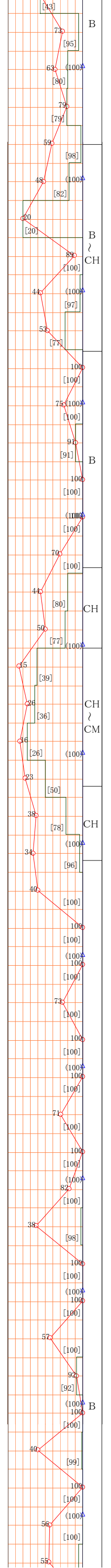
491			トータル岩	灰〜青灰	III	b	2	傾斜70〜90°の亀裂が多い。
492								
493								亀裂には薄い固結粘土が挟まり、亀裂の周辺では無色鉱物の白濁が認められる。
494	-14.68	494.40						
495			トータル岩・アブライト	灰〜青灰	B	II	b α	2
496								
497								トータル岩とアブライトが495.7〜500.9mにわたり縦に接する。境界付近はややペグマタイト質となる。開口および密着した亀裂がみられ、亀裂の周辺では無色鉱物の白濁が認められる。
498								
499	-19.28	499.00						
500			トータル岩	白〜灰	B	II	b α	1
501	-21.18	500.90						亀裂が多く、全体的に無色鉱物の白濁が認められる。
502	-21.58	501.30	アブライト	白〜灰	A	I		
503								開口および密着した亀裂共に認められ、下部境界付近は若干ペグマタイト質である。
504			トータル岩	青灰	A	I	b α	1
505								新鮮で亀裂が少ない。
506								
507	-27.08	506.80	トータル岩・アブライト	灰〜青灰	A	II	b α	1
508								トータル岩とアブライトが約1.5mにわたり接する。開口および密着した亀裂が認められ、一部、無色鉱物の白濁が認められる。
509			アブライト	灰	A	II	a α	1
510	-30.28	510.00						新鮮で亀裂少ない。やや深い灰色を示す。
511	-30.88	510.60	ペグマタイト	灰〜白	A	II	a α	1
512								亀裂はほとんどなく、トータル岩との境界部も変質は認められない。
513			トータル岩	灰〜白	A	I	a α	1
514								511.7m付近、亀裂に厚さ1〜2cm程度の固結粘土が挟まる。亀裂の周辺では無色鉱物の白濁が認められる。縦方向の亀裂が見られる。亀裂面は暗色化しているが、周辺で変質は認められない。
515								
516	-36.18	515.90	ペグマタイト	灰〜白	A	II	a α	1
517	-36.48	516.20						515.3m付近、厚さ5cm程度のペグマタイトおよびアブライトが分布する。トータル岩との境界に亀裂や変質は認められない。
518								新鮮で亀裂少ない。
519								
520								
521				青灰	A	I	a	1
522								520.2m付近、厚さ5cm程度のアブライトが分布する。520.4m付近、厚さ2cm程度のペグマタイトが分布する。
523								
524			トータル岩	灰〜青灰		II	b α	
525				青灰		I	a	
526	-46.48	526.20						525.9m付近、厚さ15cm程度のペグマタイトが分布する。
527	-47.08	526.80						開口および密着した亀裂が多い。亀裂には暗灰色の固結粘土が挟まり、無色鉱物の白濁が認められる。
528	-48.48	528.20						新鮮で、亀裂は少ない。
529	-49.28	529.00		灰〜青灰	B	III	b	2
530								亀裂が集中し、コアは短柱状である。亀裂には暗褐色の固結粘土が挟まり、亀裂の周辺では無色鉱物の白濁が認められる。
531								新鮮で亀裂はほとんど見られない。
532	-51.48	531.20		青灰	A	II	b	2
								531.1〜531.8m、厚さ1cm程度のペグマタイトが3枚挟まる。縦方向に亀裂、密着した亀裂が続くが、コアは新鮮である。



100								
86								
90								
113								
120								
100								
120								
129								
86								
106								
120								
113								

氷圧  
破砕

532		青灰	A	II	b	2	縦方向に亀裂、密着した亀裂が続くが、コアは新鮮である。		
533									
534	-54.18	533.90		I	a	1	新鮮で、亀裂少ない。		
535									
536	-55.78	535.50	白～濃灰	B	I	a	1	トータル岩との接触部付近、厚さ約20cmはペグマタイトである。黒雲母が帯状に分布する。	
537	-56.03	535.75						傾斜約80°の亀裂が見られる。亀裂面は白く変色している。	
538	-58.13	537.85	濃灰	A	II	b	2	537.5m付近、亀裂が集中しており、周囲はやや白く変色している。	
539	-59.58	539.30		I	a	1	537.8m付近、厚さ1cm程度のペグマタイトが分布する。		
540			白く灰	II	b	2	密着した亀裂がある。白く変色している。		
541	-61.33	541.05							
542			青灰	A	I	a	α	1	新鮮で亀裂はほとんどない。
543									
544									
545									
546									
547	-67.13	546.85						546.0m付近、厚さ10cm程度のアプライトが分布する。	
548				B	II	b		高角度の亀裂が見られる。一部、無色鉱物の白濁が認められる。	
549	-69.28	549.00						549.0～549.5m付近、亀裂が集中し、コアは岩片状となる。	
550			暗灰く青灰	C	III	c	2	549.6m付近、厚さ10cm程度のアプライトが分布する。	
551								550.7m付近、亀裂が多く、コアが岩片状～礫状となる。	
552								551.4m、厚さ10cm程度のアプライトが分布する。亀裂が多く、トータル岩との境界にも亀裂がある。	
553	-72.98	552.70						亀裂が多く、コアは短柱状である。亀裂には薄く固結粘土が挟まる。密着した亀裂が見られ、岩石の組織がやや不明瞭である。	
554	-74.98	554.70	トータル岩	B	II	b		553.9m付近、亀裂に厚さ7mm程度の固結粘土が挟まる。	
555									
556									
557									
558									
559									
560			青灰	A	I	a	α	1	新鮮で、亀裂は少ない。
561									
562									
563									
564								563.1m付近、厚さ8cm程度のペグマタイトが分布する。	
565									
566									
567								566.2m付近、薄い石英の脈を挟む。	
568	-87.78	567.50	アプライト	A	I	a	α	1	新鮮で亀裂はほとんどない。トータル岩との境界にも亀裂や変質は認められない。
569			濃灰					568.3m付近、厚さ1cm程度のペグマタイトが分布する。	
570	-90.58	570.30							
571									
572									
573			青灰			a		新鮮で亀裂少ない。	



95
120
86
82
12
16
100
120
93
98
100
106
12
17
129
139
120
90
139

1.2
1.3
20
24
1.4

氷圧  
破砕

氷圧  
破砕

